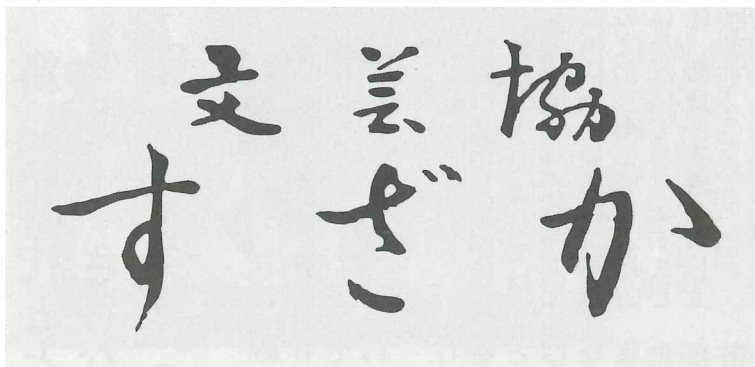




第40号

発行所
須坂市文化芸術協会

〒382-0013 須坂市常盤町747
須坂市中央公民館内
TEL(026)245-1598 FAX(026)246-3906

印刷所：ヒタキ印刷株式会社



風俗舞踊「栗餅」 藤勢津会

新年交流会
オープニングセレモニー



合吟「半夜」・俳句2題 神洲流吟剣詩舞道会

祝令和元年

文化を育み 芸を育てる

須坂市文化芸術協会会長 花房 多都蔵



この度、四月九日の定期理事会において二期目の会長に就任させ

ていただきました。令和元年という新しい時代に伝統と歴史ある当協会の会長職を再び仰せつかり、光栄でありますとともに責任の重大さを感じている次第でございます。

平成三十一年三月二十一日、東京で桜の開花が発表された日に、あのスーパースター・イチローが引退しました。引退会見でイチローは「少しずつの積み重ねしか自分を越えられない。地道に遠回りしてやっていくしかない。」また「辛い事、しんどい事に立ち向かうことが人として重要。」と言っていました。極めた人の言葉は深く、平成とともにイチロー劇場の幕が閉じ、とても寂しさを感じました。

一四〇〇年あまりの歴史があり、「令和」は二四八番目の元号です。「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められているようです。

令和元年五月一日、第一二六代新天皇陛下がご即位され、気持ちも新たに新時代の幕明けです。

須坂市文化芸術協会は今年で発足四十四年目であり、また市民文化祭は昭和三十八年の第一回開催より五十七年目（第五十七回）になります。一個人、一団体の活動だけでなく、一組織として行政や議会などのご協力を賜り大きな力となつて活動していくことが、須坂市並びに須高地域の文化芸術の発展と振興につながつていくものと考えております。会員の皆様には、日々精進と研鑽を重ねられていることと存じますが、今後とも伝統と歴史を重んじ、文化芸術の向上と継承にご尽力賜りますようお願い申し上げます。



令和元・2年度
須坂市文化芸術協会役員

会長 花房多都蔵
花房多都蔵社中（芸能）

副会長 兼 謡曲部長 青木日出雄
一謳会（謡曲）

副会長 兼 音楽部長 中島 雅景
正派雅尚会（音楽）

副会長 兼 芸能部長 市村 文男
無想伝心碧洲流（芸能）

副会長 兼 展示部長 宮崎さと子
小原流（展示）

副会長 兼 茶席部長 北原 勲
石州流（茶席）

会計 高坂恵美子
朋友バレー（芸能）

事務局長 村石 武志
柏謳会（謡曲）

幹事 田中 賢一
観世講座の会（謡曲）

幹事 廣間 軌子
蔵の町すざか昔を語る会（音楽）

監査員 永田 郁子
照岳流吟剣詩舞道会（芸能）

監査員 下村 敦子
古流松藤会（展示）

新しい時代とともに さらなる発展を

須坂市長 三木正夫



須坂市文化芸術協会の皆様におかれましては、会員各位それぞれの文化芸術活動を通して、当市の文化芸術振興にご尽力いただいておりますことに、敬意と感謝を申し上げます。

二〇二一年から二〇二二年を対象年度とした「第五次須坂市総合計画」では、「一人ひとりが輝き、磨かれた『ほんもの』の魅力あふれるまち 須坂」を当市が目指す将来像としております。そこには、私たちの生活の根本は豊かな自然や、はるか昔から須坂に暮らしてきた人々が築いてきた歴史文化の上に成り立っていることを認識し、須坂市に住むことの魅力を高

めるとともに、一人ひとりの活力を生み出すものでなければならぬ、という思いを込めています。そして、将来像を実現していくための基本目標を7項目定め、その一つとして「多様な文化を学び育て、交流する創造的なまちづくり」とし、施策として「生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしたいまちづくりの推進」を掲げ、計画に基づき様々な文化芸術、生涯学習施策の展開を図っているところであります。

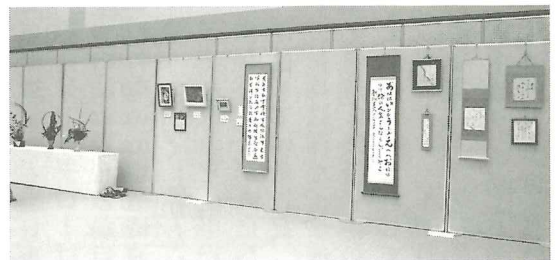
また、文化芸術振興を「ひとづくり」「まちづくり」の核としてとらえ、「市民力・産業力の創造」を目指す「須坂市文化芸術振興ビジョン」を平成二十三年に策定しております。日頃から自ら文化芸術活動に取り組むとともに、次代を担う子どもたちの育成にもご尽力いただいている須坂市文

化芸術協会の皆様方の活動が、地域社会発展の礎となるものと、あらためて感謝申し上げます。

五月から新しい時代「令和」が始まりました。古き良き伝統に裏打ちされたものから新しいもので、すべての文化芸術のさらなる発展が「持続可能なすざか」に結びつくことを期待するものであります。

結びに、花房会長様をはじめ会員の皆様の御健勝と須坂市文化芸術協会の今後益々の御発展を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

平成30年度 第56回 市民文化祭 から



展 示



音楽祭（すみさか民謡会）



謡曲会（須坂宝生会）



芸能祭（篠塚麗比フラスクール）

第9回 こどもわくわくフェスティバルより 2018.12.9



白鳥バレエ学園 須坂教室



無想伝心碧州流



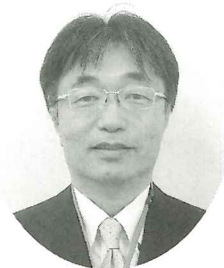
正派雅尚会



八町
手まりクラブ

文化芸術と地域づくり

須坂市中央公民館長 山岸 一 延



須坂市文化芸術協会会員の皆さまにおかれましては、日ごろから公民館活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

「いつでも」「どこでも」「だれでも」が文化芸術活動に参加、体験できる場として、また地域の文化芸術の継承と後継者の育成のために始まった文化芸術講座も、気持ちも新たに令和という新しい時代の始まりとともに十一年目がスタートしました。

昨年の講座に参加された方からは「以前からやってみたかったので応募した。」「基本を教えてもらい良かった。」「是非来年も開催してほしい。」

など、満足いただけた様子うかがえ、これもひとえに講師をお引き受けいただいた会員の皆さまの親切丁寧で真剣なご指導の賜物であり、心より感謝申し上げます。

講座終了後も継続して活動されておられる方もおり、文化芸術の継承、広がりにも少しでも寄与することができましたことを幸いに思います。

今、公民館は地域活性化・まちづくりの拠点としての役割を強く期待されていますが、文化芸術は生活に潤いをもたらさるには地域づくりのひとつのツールとなりうるものと考えます。

結びに、花房会長様をはじめ会員の皆さま方、地域に根差した伝統文化芸術の保存、継承活動にあためて敬意と感謝を申し上げますとともに、益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げます。

平成30年度 文化芸術講座



歌謡曲のやさしい日本舞踊(花房流)



触れよう尺八(尺八汎山会)



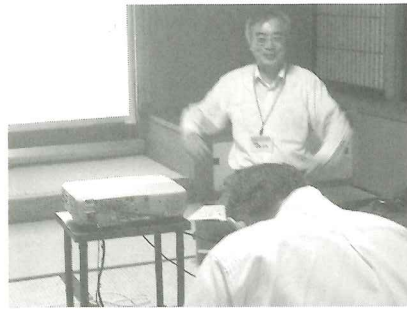
楽しいいけ花(池坊)



茶席入門(石州流)



気軽に楽しむ日本舞踊(藤間流)



仲間づくり謡曲塾(宝生流)

第57回 須坂市民文化祭

芸能祭
10月27日(日)
メセナ大ホール

茶席
10月27日(日)
メセナ小ホール・ホワイエ

展示会
10月26日(土)・27日(日)
メセナ小ホール

音楽祭
10月20日(日)
メセナ小ホール

謡曲会
10月19日(土)
中央公民館3階ホール



さわやか謡曲講座(観世流)

文芸協と私

①

文芸協と私

カモミール 永山 浩



平成十六年に高甫地域公民館のオカリナ教室としてスタートし、のちにサークルとして衣替えしました。

イタリア語で「小さなガチョウ」という意味のオカリナ（イタリア語の発音ではオカリナ）は粘土を焼いた陶器の笛で、近年は愛好者が増加し、病院や高齢者施設でのボラ

ンティアには馴染み深い楽器のひとつです。昨年度より文芸協のお仲間に加えて頂きましたが、音楽部の中で新たな分野として活動させて頂いたことに感謝しております。

また、文芸協の名称は存じていたものの、謡曲はじめ音楽、芸能展示、茶席など多彩な分野があり、それぞれが須坂市内にとどまらず積極的な活動をされていることに驚きを覚えました。

私の師匠であるオカリナ奏者の言葉に「自分の趣味としてより、人を喜ばせることが自分の幸せだと思えば音楽は更に楽しくなる」というものがあります。音楽を通じて文芸協の中で多くを学びたいと思います。

文芸協と私

②

文芸協と私

池坊 高野 博子

いけ花との出会いは、四十余年前、会社帰りに友人とお稽古に行きはじめた時からになります。先生との出会い、仲間との出会いがありお花はもちろんそれ以外の沢山の事を学ぶ事が出来、とても感謝しています。文芸協には先輩の先生方よりお誘い頂き、文化祭に出品するなど色々な経験をさせて頂きました。他流の先生方とも行事や役員会などで交流を広げられ良い機会になると思います。高齢化により、だんだんと先生方が辞められ、会員が減っていくのは、とても寂しい事です。又若い人は仕事で忙しいからなのか、お稽古離れが進んでいます。

日本には美しい四季があります。須坂は今



桜が満開です。夏には葉が繁り秋は紅葉し散り、冬を越え又美しい花を咲かせます。そういう姿に日本人は感動し元気をもらい、優しい心にもなれると思います。

伝統文化の素晴らしさを、文芸協の皆さんと協力して、少しでも伝えられればと思います。

文芸協と私

③

日本舞踊と私

花房花扇会 若房 恵里奈 (高三)

私は6歳の頃から家元先生に日本舞踊を習っています。最初は「おばあちゃん」「やってみない？」とさそってくれたのがきっかけで日本舞踊を始めました。そして、去年の10月に準名取の試験に合格することができました。試験では、課題曲の「荒城の月」を踊りました。発表会や文化祭などの舞台に立つて踊る事ももちろん緊張するのですが、試験の日はその以上に緊張してしまいました。でも、合格できてよかったです。

私は今、「藤娘」という長唄の曲を練習しています。でも、いつもの曲とは違ってとても難しいです。曲がゆっくりなので合わせるのがとても難しいです。でもこれからもしっかり練習して上手に踊れるようになりたいと思います。そして、名取になって発表会で名取披露の踊りができるように頑張りたいと思います。





ピンと張りつめた空気の中、舞台上へ一歩足を踏み出す。心地よい緊張と共に音楽と一体となり体が伸びやかに踊り出す。クラシックバレエは奥深く、殊に舞台上で踊る事の難しさは年を重ねる程に強く感じたものでした。

私は文芸協との出会いは三十年以上前、まだ市民会館で文化祭が行われていた頃でした。それから二十年経ち、娘が同じ朋友バレエでお世話になる事となりました。縁あって理事を務めさせて頂く中で、文芸協の皆さんの尽力によりこうして一年に一度あの素晴らしい舞台に立てていたのだなと知ることが出来ました。

お世話になった理事の皆様をはじめ地域の文化芸術を担う各団体の方々は、様々な知識、教養を持つていらつしやいます。皆様と交流させて頂く中で勉強になる事が多々有りました。もつと多くの市民の皆さんにこうした場を知って頂き、地域の生きた文化、心の資産としての文化、芸術に触れて欲しいと願っています。

文芸協と私 ④

朋友バレエ 中野 聡子

地域文化の土台として

文芸協と私 ⑤

一謳会 青木 日出雄

文芸協と私

私は文芸協では、謡曲部一謳会に所属しております。今回の役員改選で宝生会の藤田さんが謡曲部長、文芸協副会長役が任期切れとの事で退任し、謡曲部四団体の会議で私に順番で成れと指名されました。再度辞退しましたが、引き受けることにしました。

須坂文芸協は四十一

団体の会員を擁し活発に活動している団体です。私などその任に務まるか危惧している所です。私は会社定年後、謡曲を再度習い始め十五年になります。先生は元文芸協会長、現在相談役の金子先生です。先生には先日の須坂観世流連合会素謡会の席で同日九十歳になられたのことで乾杯の音頭とご挨拶をいただきました。

一謳会においてはこ



こ数年高齢の為自然退会となる方が出てきております。

以前は観世流連合会も大勢の参加者がいました。最近参加者も少なくなりました。謡曲は地味なわびさび、世界に誇る能楽知れば知るほど奥が深く熱心に精魂こめて習得に励む皆さんに敬意を表します。

文芸協会に感謝と決意

玉洲流吟剣詩舞道会 角田 政吉

玉洲流吟剣詩舞道会は平成三十年は大変な年でありました。「玉洲流」の中心でありました理事長宮崎東洋夫様が七月に副会長長小山信人様(文芸協相談役)が八月に誠に残念ではありますが残念ではあります。文芸協会入会以来三十年以上発展に関わり、芸能祭では芸能部門の一翼として毎年出演させて頂きました。会を代表して文芸協会

様に厚く感謝申し上げます。故宮崎理事より「玉洲流」を角田さん頼むと年賀状にありました。高齢化で練習等大変な状態ではあります。会員東山文子氏、涌井美代氏、若手の中沢謙一氏、平井美知世氏の一層の協力があります。文芸協会様よりしくお願い申し上げます。



平成30年度須坂市文化芸術協会決算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

収入金額 1,319,498円
支出金額 1,232,173円
差引残高 87,325円(次年度繰越金)

収入の部

単位・円

項目	予算額	決算額	増減	摘要
繰越金	97,888	97,888	0	前年度から
会費	740,000	765,100	25,100	41団体×3,000円 659人×500円 子どもわくわくフェスティバル、新年交流会等
補助金	450,000	450,000	0	須坂市から
雑収入	1,112	6,510	5,398	祝儀等
合計	1,289,000	1,319,498	30,498	

支出の部

単位・円

項目	予算額	決算額	増減	摘要
会議費	18,000	9,946	△ 8,054	役員会、理事会、監査、冷暖房費等
渉外費	10,000	9,000	△ 1,000	市体協表彰式、須高書道
普及活動費	45,000	51,295	6,295	子どもわくわくフェスティバル 連携講座
通信・事務費	40,000	31,074	△ 8,926	コピー用紙、コピー代、はがき代等
負担金	45,000	45,500	500	須高文化交流会、各種大会
役務費	30,000	33,000	3,000	
事業費	1,066,000	1,016,158	△ 49,842	文化祭、その他
内 名簿・会報	80,000	73,980	△ 6,020	
内 広告	80,000	80,680	680	
内 プログラム	140,000	140,400	400	
内 謡曲部	44,000	49,000	5,000	
内 音楽部	75,000	79,000	4,000	
内 芸能部	287,000	276,000	△ 11,000	
内 展示部	60,000	58,000	△ 2,000	個人会費2,500円含む
内 茶席部	20,000	20,000	0	
内 その他事業	280,000	239,098	△ 40,902	行政懇談会、新年交流会
予備費	35,000	36,200	1,200	小山相談役告別式生花、特別事業積立金
合計	1,289,000	1,232,173	△ 56,827	

特別事業積立金 120,023円

平成31年度(令和元年度)須坂市文化芸術協会予算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

平成31年4月1日承認

収入金額 1,263,000円
支出金額 1,263,000円
差引残高 0円

収入の部

単位・円

項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
繰越金	87,325	97,888	△ 10,563	前年度より繰越
会費	720,000	740,000	△ 20,000	40団体×3,000円 620人×500円 子どもわくわくフェスティバル、新年交流会等
補助金	450,000	450,000	0	須坂市から
雑収入	5,675	1,112	4,563	利息・祝儀等
合計	1,263,000	1,289,000	△ 26,000	

支出の部

単位・円

項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
会議費	15,000	18,000	△ 3,000	役員会、理事会、監査、冷暖房費等
渉外費	10,000	10,000	0	
普及活動費	50,000	45,000	5,000	子どもわくわくフェスティバル 連携講座
通信・事務費	50,000	40,000	10,000	コピー用紙、コピー代、はがき代等
負担金	45,000	45,000	0	須高文化交流会、各種大会
役務費	33,000	30,000	3,000	
事業費	1,025,000	1,066,000	△ 41,000	文化祭、その他
内 名簿・会報	75,000	80,000	△ 5,000	
内 広告	83,000	80,000	3,000	
内 プログラム	145,000	140,000	5,000	
内 謡曲部	46,000	44,000	2,000	
内 音楽部	76,000	75,000	1,000	
内 芸能部	272,000	287,000	△ 15,000	
内 展示部	58,000	60,000	△ 2,000	個人会費含む
内 茶席部	20,000	20,000	0	
内 その他事業	250,000	280,000	△ 30,000	議員懇談会、新年交流会
特別事業積立金	20,000	0	20,000	
予備費	15,000	35,000	△ 20,000	
合計	1,263,000	1,289,000	△ 26,000	

平成31年度(令和元年度)須坂市文化芸術協会事業計画

期日	事業	内容	場所
4月9日(火)	定期理事会	決算報告・事業計画など	中央公民館
4月9日(火)	編集委員会	発行までのスケジュール確認	中央公民館
5月13日(月)	役員常任理事会	第1回理事会付託議案審議	中央公民館
5月13日(月)	編集委員会	校正	中央公民館
6月6日(木)	連携講座の開始	仲間づくりの謡曲塾ほか6講座	中央公民館
6月10日(月)	第1回理事会	議員懇談会・予算ほか	中央公民館
6月25日(火)	役員・常任理事会	議員懇談会	中央公民館
7月13日(土)	議員懇談会	正副議長及び関係議員との意見交換	中央公民館
7月20日(土)	須坂カッタカタまつり	芸能部参加	駅前通りほか
9月9日(月)	第2回理事会	市民文化祭・子どもわくわくフェスティバルほか	中央公民館
10月19日(土)	第57回 市民文化祭	謡曲会	中央公民館3階ホール
10月20日(日)		音楽祭	メセナ小ホール
10月26日(土)・27日(日)		展示会	メセナ小ホール
10月27日(日)		茶席	メセナ小ホール ホワイエ
10月27日(日)		芸能祭	メセナ大ホール
11月7日(木)	役員会	子どもわくわくフェスティバル	中央公民館
12月8日(日)	第10回子どもわくわくフェスティバル	子ども達の舞台発表と展示	メセナ小ホール
令和2年			
1月15日(水)	役員・常任理事会	新年交流会	中央公民館
2月8日(土)	文芸協新年交流会		中央公民館
2月	須高文化交流会	須坂・小布施・高山・文化交流	高山村
3月	常任理事会	当年度事業及び決算報告・次年度事業計画ほか	中央公民館
3月29日(日)	会計監査	31年度事業・収支監査	中央公民館

編集後記

役員任期がまた新たにスタートいたしました。そして年号も「令和」に変わります。初めての会報発行です。各団体の活動状況等、会員の皆様には原稿執筆にご

協力をお願いいたします。感謝申し上げます。(中島)

〈編集委員〉

中島 雅景・青木日出雄
市村 文男・宮崎さと子
北原 隆・山岸 文子
牧原 高坂恵美子
浅野 昭子